

# 高野山宣言2023

## — 自然との協調と共存がはぐくむ多様な人々の安寧と幸福 —

いま時代は大きく動き、自然環境と人間社会はそのかたちを変えつつあります。そのような時代にあって、多様な人々の安寧と幸福には、個性豊かな感性と理性、そして倫理性をもって、一人ひとりが協力し共存できる社会を構築し、持続させていくことが大切です。そのような社会の実現に向け、わたしたちのこれからの在り方、そして未来のすがたを考え、かたちづくるため、ここに「高野山宣言2023」を宣言します。

### 1. 人間中心から自然中心への視座の転回

人を自然から切り離し、自然からは恩恵のみを享受するという、これまでの人間を中心とした視座から脱却し、人もまた自然の一部であり、あらゆるものとの関係性の中で生かされているという視座の転回が、多様な人々の安寧と幸福な社会を築き持続させていくうえで重要となります。わたしたちは、このような視座の転回を実践し、芸術・科学・宗教などさまざまな角度からその重要性と意義を発信していきます。

### 2. 未来を担う子どもたちの育成

未来を担う子どもたちには、個性豊かな感性と理性、そして倫理性を育むことが重要です。そのような育成のために、芸術と科学そしてところがゆたかになる教育の環境を創造していきます。高野山をひとつの場として、その重要性と意義を発信していきます。

### 3. 高野山会議の開催

芸術・科学・宗教をはじめとするさまざまな分野にかかわる多様な人々が集い、前項1、2をひろく実現するため、その対話と実践、発信の場として「高野山会議」を高野山金剛峯寺にて開催していきます。

「高野山会議2023」では、以下を1200年後の未来のためのメッセージとし、  
「高野山会議2024」につなげていきます。

1. 「六大無碍にして常に瑜伽なり」。すべての命を生かしあい、互いに命を輝かせあうことができる世界へ。
2. 自らの内と外の宇宙を俯瞰し、和の心をもって共創する。
3. 自利利他。支配から奉仕へ。万物の調和をもたらす科学技術をつむぎ、1200年後の世代に地球をつなぐ。
4. みんなの力で、これまでのパラダイムを超える新しい価値感を創造し、実践する。
5. 「持続可能なまちづくり」は、歴史文化を知るふるさと教育から始まる。高野山で育つ子どもたちが高野山会議とともに豊かに成長していくことを願う。

令和5年7月16日

東京大学名誉教授

先端科学技術研究センターシニアリサーチフェロー

神崎 亮平

東京大学先端科学技術研究センター所長・教授

杉山 正和

総本山金剛峯寺執行長・高野山真言宗宗務総長

今川 泰伸

和歌山県知事

岸本 周平

高野町長

平野 嘉也

高野山大学学長

添田 隆昭